

## 社会福祉学研究科アドミッション・ポリシー

### <博士前期課程>

#### 【求める学生像】

1. (社会福祉の発展に対する目的意識)  
複雑化、多様化する社会福祉の現代的課題の解明と解決を志し、これに資する知識と方法の習得から研究に発展する目的意識を有する人
  2. (専門職としての実践研究を遂行する能力)  
現代社会が求める専門職の役割と責任に対する重要性を理解し、専門職として必要な能力を研鑽できる基礎的な知識と実践力を備えている人
  3. (地域貢献に対する意欲)  
地域生活を支える手段としての社会福祉の役割を重視し、社会福祉研究の探究を通して地域社会の発展へ貢献したいと考えている人
- 以上のような学生を求めています。

#### 【選抜の基本方針】

社会福祉学研究科では、入学後の研究を中心とした学修への適性をみることを各選抜区分に共通の方針とし、すべての区分で研究計画書等の書類評価を行った上で、博士前期課程においては入学前の多様な経験に即した評価を行うため各種選抜区分を設けています。

校内推薦選抜では、岩手県立大学社会福祉学部における学修で優秀な成績を修めることを適性評価の中核とします。

一般選抜では、専門科目および英語に関する筆記試験によって適性を評価します。

社会人特別選抜では、志願者の実務経験を研究的に展開する可能性を評価します。

### <博士後期課程>

#### 【求める学生像】

1. (社会福祉の発展に対する目的意識)  
複雑化、多様化する社会福祉の現代的課題の解明と解決を志し、これに資する知識と方法の習得から研究に発展する目的意識を有する人
  2. (専門職としての実践研究を遂行する能力)  
現代社会が求める専門職の役割と責任に対する重要性を理解し、専門職として必要な能力を研鑽できる基礎的な知識と実践力を備えている人
  3. (地域貢献に対する意欲)  
地域生活を支える手段としての社会福祉の役割を重視し、社会福祉研究の探究を通して地域社会の発展へ貢献したいと考えている人
  4. (高度な学問的な見識と実践)  
博士前期課程(修士課程)における専門教育と研究、あるいは、これまでの社会経験に基づき、社会福祉に関する高度な問題意識を学問的に深めたい人
- 以上のような学生を求めています。

#### 【選抜の基本方針】

社会福祉学研究科では、入学後の研究を中心とした学修への適性をみることを各選抜区分に共通の方針とし、すべての区分で研究計画書等の書類評価を行った上で、後期課程の選抜においては、書類評価および面接を通じて、高度な研究に取り組むことができる資質、特に研究基盤の形成状況および発展可能性を総合的に評価します。